

キッズ 補欠ゼロリーグ!

補欠ゼロリーグは、キッズ年代（10歳以下）の子供たちに「年間を通して定期的に試合ができる環境」を提供するため、2004年にスタートした岩手県独自の取り組みです。
 才能を埋もれさせず、ひとりでも多くの子供たちがサッカーへの関心を持続してくれることを目的としています。
 また、FA エリートプログラムやFA スクールから発掘した子供たちを参加に導いて、連動させています。

- 【主催】 (公社)岩手県サッカー協会
- 【主管】 (公社)岩手県サッカー協会 キッズ委員会 11地区
- 【運営】 地区キッズ担当者、参加団体指導者、JFA キッズリーダー、父母、学生など
- 【対象】 少年団・クラブチーム・スクール等に所属する小学4年生以下のキッズおよび準ずるキッズで、傷害保険に加入していること
- 【内容】 2002年にJリーグ・アカデミー（当時プロジェクトリーダー山下則之氏）が提唱した「補欠ゼロ = 参加するすべての子供たちに均等に試合の機会を提供する」の考え方を基本として、参加団体の対抗戦ではなく、集まった子供たちをシャッフル混成チーム分け（補欠を作らず4～5人制）して、そのチームでその日限りのリーグ戦を戦い抜きます。

- ★ 試合には常にレギュラー選手としてフル出場
- ★ 混成するので団員1人での参加も大丈夫
- ★ 4～5人制でボールに関わるチャンスが多い
- ★ 混成チームの中でプレーすることで社会性を養う



一関地区 第6回（最終節） U-8, U-10補欠ゼロ



- 【日時会場】 2016年3月12日（土） 9:00～12:00 一関市東山総合体育館
- 【参加団体】 一関南、千厩、東山、藤沢、一関キッズ、カワサキ、大東
- 【参加人数】 57名 / 小1（12）、小2（12）、小3（19）、小4（14）
- 【運営本部長】 千葉 晃徳 県協会キッズ委員会 県南支部会長（一関南）
- 【運営サポート】 6名（一関南、藤沢、一関キッズ、カワサキ、大東、県協会）

【開会式】



【U6】



【U6の部】



【U10の部】



【U10の部】





【活動を終えて】

今回は今年度の6回目で、最終節でした。今節も午前中の一斉開催としました。本日は審判インストラクター講習会やキッズ委員会会議と重なり、運営スタッフが少なかったのですが、県協会から鎌澤さんにお手伝いにお越し頂き、U8のクリニックやトレーニング等をお手伝い頂きました。

★U-10 クリニック

鬼ごっこ、ブルッシュ7種類、インサイドキック、トラップ2種類、四角形パスアンドゴー、を実施しました。

★U-10 M-T-M 合間トレーニング

パス&ムーブが少なかったため、意識付けの為に「5対3のリターンパス無し」を実施しました。

★U-8 クリニック

「コーン倒し」「投げ上げてボールキャッチ」(頭肩おしりタッチ)
「指定ありドリブル」①まっすぐ進む ②片足インアウトで進んで帰りは反対足 ③トータップでまっすぐ進み中間点で90°まわって横向きトータップに切り替えて進む ④エンドラインまでタッチ数限定で進んで最後は足裏でストップするランウィズザボール動作
「ドリブルで進んだら必ずシザースしてからシュート」を実施しました。

★U-8 M-T-M 合間トレーニング

1回1回のキックを大切にしようということで、「手→インステップキック→手でキャッチ」をおこない、足の甲の一定の所でボールの中心を蹴るよう練習しました。そして「ワンバウンド・リフティング」に挑戦しました。

新年度は、5月に第一回開催を予定しています。宜しくお願い致します。

岩手県サッカー協会キッズ委員会 県南支部会長
千葉晃徳 (一関南FC)

編集 : 鎌澤 (県協会)